



# Design

～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

Design号外73号です。10月22日に開催した腎臓病教室の報告とケアプランセンターやましろからのお知らせを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 腎臓病教室を開催しました

～多数のご参加ありがとうございました～

令和4年10月22日（土）、「第1回 腎臓病教室」がオンラインで開催されました。当日は、多くの関係職のみなさま、地域住民のみなさまがご参加下さいました。

講演1「慢性腎臓病は国民病です」では、腎臓内科浅井医師より、様々な統計データや臨床経験などを踏まえて、腎臓病について講演させていただきました。導入の“生物の進化の過程にお



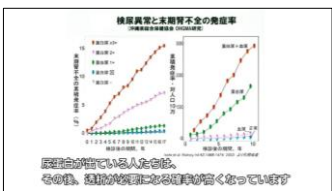
ける腎臓の役割”の説明から興味深い内容で、一見難しい医学的な話もわかりやすく理解いただけたのではないのでしょうか。



講演2「尿のことを学びましょう」では、透析室看護師によるドラマ仕立ての動画を鑑賞いただきました。わかりやすく編集された動画で、笑いどころもあり、楽しく学んでいただけたのではないのでしょうか？動画の途中、みなさまに事前に回答いただいたアンケート（健診を受けたことがあるか、検尿で異常を指摘されたらどうするか、など）の結果報告もさせていただきました。



講演3「減塩ってする必要があるの？」では、今西管理栄養士より、減塩について数的根拠をもって情報提供させていただきました。すぐにでも試せるおいしく減塩するための方法も説明されており、タメになる話も多かったのではないかと思います。



最後の「Q&A」ではたくさんの質問をいただき、参加者のみなさまの関心の高さや普段のお悩みを知ることができました。



今回の「腎臓病教室」が、みなさまが腎臓病に興味を持っていただく良いきっかけとなっていれば幸いです。定期的な開催を予定しておりますので、今回は参加できなかった方は次回ぜひご参加ください。今後ともよろしくお願ひ致します。

（地域医療連携室 主事 松田 辰基）

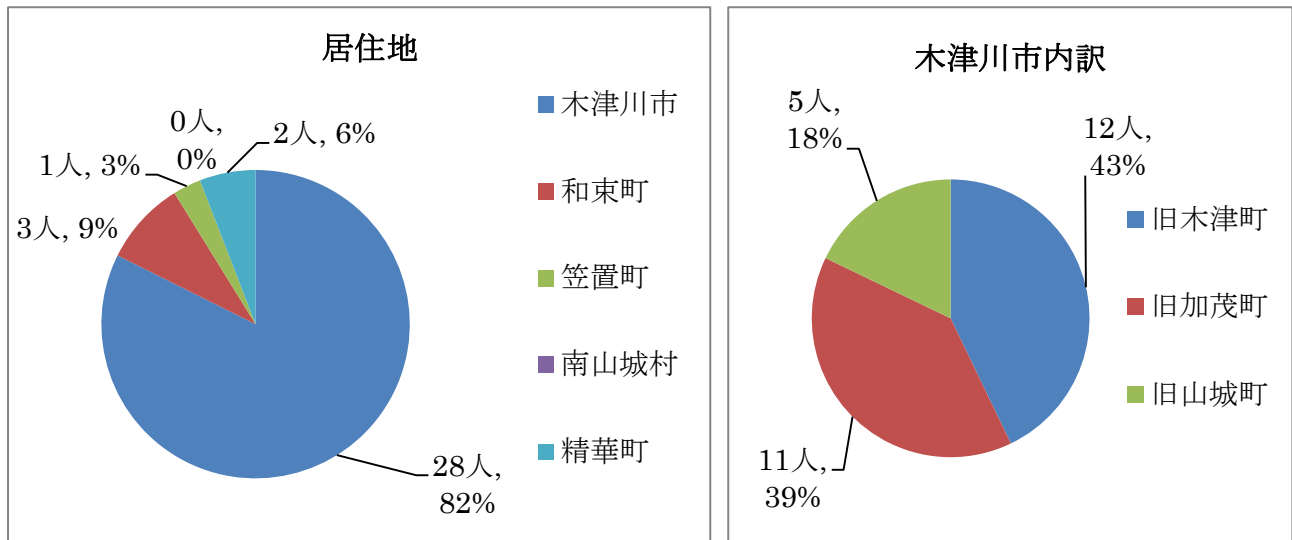


## ケアプランセンターやましろより

### ～ 居住地の内訳について ～

令和4年4月の開設以降、これまで述べ35名のご利用者を担当させて頂きました。また、ご紹介元は、院内紹介（当院のソーシャルワーカー）が19名、地域包括支援センターなど地域の皆様からのご紹介が16名となっています。新規のご依頼については、お気軽に担当者までお願い致します。（南出）

ケアプランセンターやましろ 0774-71-0039（担当：田中）



## 地域医療連携室より

### ～ 臨場感 ～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着いているタイミングで、先日、京セラドームへ野球の日本シリーズを観に行ってきました。残念ながら応援していたヤクルトスワローズは負けてしまったのですが、テレビでは味わうことができない、ボールがバットに当たる音やピッチャーが投げたボールがキャッチャーミットに当たる音、観客の歓声など、臨場感を楽しむことができました。

野球観戦をしながら、コロナ禍によりこれまでの対面での研修会の多くがオンラインになり、対面での研修会で味わえた臨場感（ひとつの会場で一緒に学ぶ緊張感や、研修会前後の雑談などによる参加者同士の交流など）がなくなってしまったことを少し寂しく感じました（オンライン開催により、距離的な問題でこれまでであれば参加できなかった研修会を気軽に受講することができるようになったり、良い点も沢山あるのですが）。皆さんはどのように感じておられているでしょうか。

\*

さて、地域包括ケア病棟“彩り”です。先日お伝えしていたアンケートは、間もなく完成予定です。完成しましたら、QRコードを読み込んで頂き、回答して頂く予定をしていますが、忌憚のないご意見を頂きますようお願いいたします。また、例年のこととなりますが、年末年始も受け入れをさせて頂きます。ベッドの調整などの段取りが必要なため、ご予約が決まっている場合には早めにご連絡頂きましたら幸いです。（地域医療連携室 室長 南出 弦）